



2019年6月期 決算短信(日本基準)(連結)



2019年8月9日

上場会社名 株式会社 アクシーズ
コード番号 1381 URL <http://www.axyz-grp.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊地知 高正

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 榊 茂

TEL 099-223-7385

定時株主総会開催予定日 2019年9月18日

配当支払開始予定日

2019年9月19日

有価証券報告書提出予定日 2019年9月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期の連結業績(2018年7月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	19,586	1.1	2,431	18.7	2,560	17.0	1,807	15.2
2018年6月期	19,369	3.0	2,991	0.9	3,086	0.9	2,131	8.8

(注) 包括利益 2019年6月期 1,791百万円 (15.6%) 2018年6月期 2,122百万円 (6.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年6月期	321.81		13.8	16.1	12.4
2018年6月期	379.63		18.5	21.2	15.4

(参考) 持分法投資損益 2019年6月期 4百万円 2018年6月期 9百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	16,426	13,815	84.1	2,460.01
2018年6月期	15,360	12,444	81.0	2,215.94

(参考) 自己資本 2019年6月期 13,815百万円 2018年6月期 12,444百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年6月期	2,390	2,150	420	6,533
2018年6月期	2,336	783	253	6,714

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年6月期		0.00		75.00	75.00	421	19.8	3.7
2019年6月期		0.00		80.00	80.00	449	24.9	3.4
2020年6月期(予想)		0.00		77.50	77.50			

2019年6月期期末配当金の内訳

普通配当77円50銭 創立70周年記念配当2円50銭

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,600	0.1	2,100	13.6	2,200	14.1	1,560	13.7	277.79

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期	5,617,500 株	2018年6月期	5,617,500 株
期末自己株式数	2019年6月期	1,649 株	2018年6月期	1,608 株
期中平均株式数	2019年6月期	5,615,864 株	2018年6月期	5,615,929 株

(参考)個別業績の概要

2019年6月期の個別業績(2018年7月1日～2019年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	17,175	0.5	1,988	23.6	2,295	18.3	1,700	15.8
2018年6月期	17,094	4.0	2,603	0.6	2,810	0.5	2,020	10.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期	302.83	
2018年6月期	359.74	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	13,092	11,137	85.1	1,983.20
2018年6月期	12,169	9,873	81.1	1,758.13

(参考) 自己資本 2019年6月期 11,137百万円 2018年6月期 9,873百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな景気回復が見られるものの、通商問題や国際情勢の緊迫化等、景気の下振れリスクが多数存在し、先行き不透明な状況が続いております。

鶏肉業界におきましては、国内における鶏肉の生産が増加したこと等により、需給バランスが緩み、鶏肉相場の低迷が継続しております。また、主要製造コストである飼料原料価格をはじめとする原燃料価格や人件費の高騰が続いており、厳しい経営環境が継続いたしました。

このような状況の中、当社グループの業績は、売上高195億86百万円（前期比1.1%増）となりました。利益面につきましては、営業利益24億31百万円（同18.7%減）、経常利益25億60百万円（同17.0%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、18億7百万円（同15.2%減）となりました。

*当連結会計年度より、一部費用（主に物流業務にかかる費用）の計上科目の見直しを行いました。その結果、総額約6億円の販売費及び一般管理費を売上原価に組み替えております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

イ. 食品

食品事業におきましては、引き続き出荷数量の増加及び効率化に努めました。しかしながら、国内鶏肉相場低迷の影響が大きく、さらに肥育及び鶏肉加工両部門において生産工程の歩留りが低下したこと等により、売上高は165億90百万円(前期比1.7%減)、セグメント利益は19億59百万円（同29.4%減）となりました。

ロ. 外食

外食事業におきましては、KFC店舗におけるキャンペーンが継続的に好調でありました。一部店舗の閉鎖がありました。既存店舗の売上の増加により、採算が大幅に改善いたしました。今後につきましては、既存店舗の継続・定期的なリニューアル及び新規出店への設備投資を強化し、引き続きセールスの向上に努めてまいります。売上高は26億29百万円(同5.5%増)、セグメント利益は2億75百万円(同30.1%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ10億65百万円増加し、164億26百万円となりました。これは、主に機械装置及び運搬具(純額)が10億47百万円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ3億4百万円減少し、26億11百万円となりました。これは、主に未払金が1億94百万円、未払法人税等が81百万円減少したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ13億70百万円増加し、138億15百万円となりました。これは、利益剰余金が利益計上により13億86百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は65億33百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億81百万円減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、23億90百万円の資金増加（前期は23億36百万円の資金増加）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益が25億76百万円、減価償却費が7億80百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、21億50百万円の資金減少（前期は7億83百万円の資金減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が17億68百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、4億20百万円の資金減少（前期は2億53百万円の資金減少）となりました。これは、配当金の支払額が4億20百万円あったこと等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期
自己資本比率(%)	76.8	81.0	84.1
時価ベースの自己資本比率(%)	138.2	153.6	84.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	3,007.1	2,940.5	2,829.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにおきましては、わが国の経済は雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかに改善するものと期待されますが、本年10月には消費税率の引き上げが予定されており、消費者の節約志向の高まりなどから先行きに懸念が残る状況にあります。また、鶏肉業界におきましては、食肉・穀物相場の変動や世界規模での需給動向の変化が激しく、厳しい経営環境が続くことを予測しております。

こうした状況下におきまして、当社グループは販売活動の強化を図るとともに、食品事業及び外食事業において生産性の向上を目指してまいります。

また、消費者に対する安全・安心への信頼を保証すべく、更なる品質管理体制の発展に注力いたします。

以上により、通期連結業績見通しといたしましては、売上高196億円、営業利益21億円、経常利益22億円、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては15億円60百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,724	6,543
受取手形及び売掛金	1,760	1,883
製品	390	290
仕掛品	208	230
原材料及び貯蔵品	660	654
その他	334	303
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,077	9,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	661	672
機械装置及び運搬具(純額)	67	1,114
工具、器具及び備品(純額)	1,597	1,422
土地	2,344	2,343
建設仮勘定	11	21
有形固定資産合計	4,682	5,575
無形固定資産		
	17	8
投資その他の資産		
投資有価証券	336	336
長期貸付金	38	139
繰延税金資産	41	34
その他	167	426
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	582	936
固定資産合計	5,283	6,520
資産合計	15,360	16,426

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	365	424
1年内償還予定の社債	—	35
未払金	1,349	1,155
未払法人税等	445	363
役員賞与引当金	11	—
その他	179	171
流動負債合計	2,351	2,150
固定負債		
社債	35	—
繰延税金負債	195	125
役員退職慰労引当金	114	115
退職給付に係る負債	167	173
その他	51	46
固定負債合計	565	461
負債合計	2,916	2,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	452	452
資本剰余金	428	428
利益剰余金	11,493	12,880
自己株式	△1	△1
株主資本合計	12,373	13,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	55
その他の包括利益累計額合計	71	55
純資産合計	12,444	13,815
負債純資産合計	15,360	16,426

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
売上高	19,369	19,586
売上原価	12,101	13,383
売上総利益	7,267	6,203
販売費及び一般管理費	4,276	3,771
営業利益	2,991	2,431
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	7	7
持分法による投資利益	9	4
受取家賃	30	37
為替差益	1	5
受取保険金	35	62
その他	20	12
営業外収益合計	107	131
営業外費用		
支払利息	0	0
減損損失	10	1
その他	0	0
営業外費用合計	11	2
経常利益	3,086	2,560
特別利益		
補助金収入	54	—
受取保険金	—	28
特別利益合計	54	28
特別損失		
固定資産圧縮損	54	6
固定資産除却損	41	6
減損損失	29	0
特別損失合計	125	12
税金等調整前当期純利益	3,015	2,576
法人税、住民税及び事業税	959	827
法人税等調整額	△75	△57
法人税等合計	883	769
当期純利益	2,131	1,807
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	2,131	1,807

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
当期純利益	2,131	1,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△15
その他の包括利益合計	△9	△15
包括利益	2,122	1,791
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,122	1,791
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	452	428	9,614	△1	10,494
当期変動額					
剰余金の配当			△252		△252
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,131		2,131
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,879	△0	1,878
当期末残高	452	428	11,493	△1	12,373

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	80	80	10,575
当期変動額			
剰余金の配当			△252
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,131
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△9	△9	△9
当期変動額合計	△9	△9	1,869
当期末残高	71	71	12,444

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	452	428	11,493	△1	12,373
当期変動額					
剰余金の配当			△421		△421
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,807		1,807
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,386	△0	1,385
当期末残高	452	428	12,880	△1	13,759

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	71	71	12,444
当期変動額			
剰余金の配当			△421
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,807
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△15	△15	△15
当期変動額合計	△15	△15	1,370
当期末残高	55	55	13,815

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,015	2,576
減価償却費	550	780
減損損失	39	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10	△11
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	5
受取利息及び受取配当金	△9	△9
その他の営業外損益(△は益)	△86	△110
支払利息	0	0
持分法による投資損益(△は益)	△9	△4
固定資産除売却損益(△は益)	41	6
補助金収入	△54	—
固定資産圧縮損	54	6
その他の特別損益(△は益)	—	△28
売上債権の増減額(△は増加)	△81	△123
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67	82
仕入債務の増減額(△は減少)	△153	59
未払金の増減額(△は減少)	128	△101
その他	74	12
小計	3,417	3,147
利息及び配当金の受取額	9	9
利息の支払額	△0	△0
賃貸料の受取額	30	37
補助金の受取額	54	—
法人税等の支払額	△1,230	△903
その他	55	101
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,336	2,390
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	10	10
有形固定資産の取得による支出	△808	△1,768
無形固定資産の取得による支出	△33	—
投資有価証券の取得による支出	△10	△17
貸付けによる支出	△88	△217
貸付金の回収による収入	159	116
その他の支出	—	△280
その他	△1	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△783	△2,150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△252	△420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△253	△420
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,299	△181
現金及び現金同等物の期首残高	5,414	6,714
現金及び現金同等物の期末残高	6,714	6,533

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、業種別のセグメントから構成されており、「食品」及び「外食」の2つを報告セグメントとしております。

「食品」は主に鶏肉(チルド及びフローズン)や鶏肉に加熱、味付け等を施した加工食品の製造及び販売を行っております。「外食」はケンタッキーフライドチキン及びピザハット店舗のFC事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	食品	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,875	2,493	19,369	—	19,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	16,875	2,493	19,369	△0	19,369
セグメント利益	2,776	211	2,988	3	2,991
セグメント資産	13,656	1,705	15,362	△1	15,360
その他の項目					
減価償却費	532	16	548	—	548
のれんの償却費	—	1	1	—	1
減損損失	39	0	39	—	39
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	892	34	927	—	927

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	食品	外食	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,590	2,629	19,220	366	19,586	—	19,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	16,590	2,629	19,220	366	19,586	△0	19,586
セグメント利益	1,959	275	2,235	193	2,428	3	2,431
セグメント資産	13,362	1,788	15,151	1,275	16,427	△1	16,426
その他の項目							
減価償却費	599	19	618	159	778	—	778
のれんの償却費	—	1	1	—	1	—	1
減損損失	1	0	1	—	1	—	1
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	468	51	519	1,148	1,668	—	1,668

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり純資産額	2,215円94銭	2,460円01銭
1株当たり当期純利益	379円63銭	321円81銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,131	1,807
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,131	1,807
期中平均株式数(株)	5,615,929	5,615,864

(重要な後発事象)

該当事項はありません。